



自ら学び、豊かな心をもって、たくましく生きる児童の育成

5月も順調に過ごせています。

学校は、本日までに、小中合同あいさつ運動、宿泊学習、春の遠足、年度初めの内科検診、歯科検診、耳鼻科検診等を終えることができました。どの学年も落ち着いて学習に取り組むことができ、それぞれの学年が、一生懸命学習し、決まりを守ろうとしている様子が見えます。

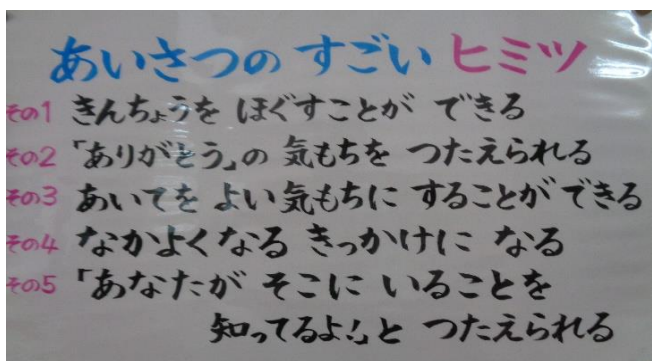
さて、5月も残り数日になりました。天気予報でも雨予報が多くなり、これからいよいよ梅雨の季節がやってきます。過ごし方を工夫してこの時期を乗り切っていきたいものです。

小中合同あいさつ運動(7日、9日、10日)

山之口地区の小中一貫教育の取組として、昨年同様「小中合同あいさつ運動」が行われました。当日は、早朝から山之口まちづくり協議会の委員の方も参加していただき、正門近くに並んであいさつ運動を行いました。

富吉小学校区の中学生も朝の登校途中に、自転車を小学校に止めて、あいさつ運動の列に加わりました。登校してきた子ども達から順番に列に並ぶことで、あいさつの声もだんだん大きくなっていったように感じました。あいさつの声が家庭、学校、地域で大きく響くように自分からあいさつをすることを心がけていきましょう。参加された地域の皆様、ありがとうございました。

【あいさつのすごいヒミツ～富吉小の掲示板から～】



富吉小学校運営協議会を開催しました。

子ども達を取り巻く環境や学校が抱える課題は多様化しており、学校と地域の連携・協働の重要性が指摘されています。このような流れの中で、学校運営協議会制度がスタートしました。学校だけでなく地域のそれぞれの当事者に参加していただきながら、学校運営に関しての御意見を伺ったり、情報交換をしながら地域全体で子どもたちを育て、学校と地域が相互に理解し、協働できる体制づくりを進めていく必要があります。富吉小にもそんな学校を支えてくださる委員の方が8名いらっしゃいます。委員の方は、下の通りです。

- 会長 西久保五十六 様
- 委員 南 茂博 様
- 委員 日高 正嗣 様
- 委員 紺家 紀宏 様
- 委員 上徳 倫子 様
- 委員 中元 美智子 様
- 委員 新美 潤子 様
- 委員 日高 正太 様



よろしくお願いいたします。

自分のことが好き。自信をもてることがある。

何かの資料を読んでいてなるほどと感じたことを紹介します。

アンケート調査の結果等によると、今の子ども達は、「自分に自信がなく、自分のことを好きになれない。」とこたえる割合が増えているとか、若年層の就職して3年間の離職(退職)率が高くなっているとか、いろいろな課題があらわれています。原因はいろいろあると思われますが、その一因として自己肯定感の低さがあるのではないかとこのことです。

これからの世の中を担っていく子ども達(若者)に対して、「自分のことが好き。自分には自信をもてることがある。」という自己肯定感を持たせる(育てる)ことはとても大切なことです。そのことが心の支えになり行動の原動力になっていくというのです。

では、どのようにすれば自己肯定感を育てることができるのでしょうか?(次号に続く)